



蒼生会
門脇 晃幸 議員

仙北市立病院の維持継続と方向性について

質問 自治体病院の良いところは。

答弁 市民に寄り添った病院であることが最大の良いところと考えている。

質問 自治体病院の果たす役割は何か。また、一定の赤字を織り込んだ経営健全化計画が必要と考えるがどうか。

答弁 採算性や特殊性の面から、民間医療機関では対応が困難である診療に対し、市民の健康保持に必要な医療を提供することが果たす役割と考える。

また、自治体病院の役割を考えたとき、赤字イコールそれがダメだということではないと認識している。

質問 経営問題に対応する院内体制は万全か。また、診療報酬による適宜適切な対応等、国に求め続ける必要があると思うがどうか。

答弁 現状は万全ではない。万全を目指して、現在、院内体制を構築している。また、国の診療報酬

制度の適切な見直しと財政支援を継続して求めていく。そして、自らの経営改善と国による支援の両輪で立て直しを図っていく。

質問 市民が自治体病院に何を求めているのかを含め、あるべき病院像を示す必要があると思うがどうか。そして、目指す病院像への道のりは、大きく舵を振るう改革が必要と考える。その覚悟はあるか。

答弁 市民に寄り添った医療を提供し、医療スタッフが一丸となり、愛され信頼される病院づくりに努める。また、大きく舵を振るう改革の必要性は強く認識している。市民が安心して生活できる社会基盤を支え、将来世代へつなぐ持続可能な医療の実現が重要であると考える。

田沢湖病院



角館総合病院



■大きく舵を振るう改革が必要な二つの病院経営



新成せんぼく
西宮 三春 議員

子育て世帯の支援について

質問 令和6年第2回定例会一般質問で提案した、お昼寝コットの導入に向けた時期や規模について伺う。

答弁 市内で偏りが出ないよう平等に実施したいが、スペースの確保等があり、導入可能な施設から段階的に導入を検討していく。

質問 ＊ファミリーサポートセンターを導入する考えは。

答弁 市民から導入してほしいとの声がある。市民同士が支えあい、地域ぐるみで子育てを行う仕組みのファミサポについては令和9年度中に進める病児・病後児保育事業と共に、地域の実情に即した支援策を検討していく。

8月20日豪雨災害について

質問 多くの市民が仙北市公式LINEで情報を得ているが、人命最優先の避難指示等の呼びかけ文面を短く・わかりやすいものにならないか。

答弁 読むことに時間がかかってしまうご指摘を重く受け止め、今

後わかりやすい情報発信を検証していく。

質問 今回のような災害を想定し、孤立地域となりうる地域の非常用備蓄は、分散備蓄となっているが、その管理体制について伺う。

答弁 災害備蓄品は、西木庁舎裏の車庫を備蓄倉庫の拠点とし、一括保全し、各避難所及び庁舎には、一定の量を配置している。山鳩館にも、避難所開設と同時に、非常食と水を消防団が運んでいる。

【その他の質問】

◆運転免許返納制度について

◆高齢者の熱中症対策について



■保護者負担軽減を図ることができるお昼寝コット



公明党
熊谷 一夫 議員

桜木内地区の大雨災害について

質問 ①災害の初動体制は迅速、的確に指揮・命令系統化されていたか。

②現場で被災者の状況確認や孤立集落への対応。

③被災者の相談窓口、周知方法。

④罹災証明書の発行。

⑤水道の復旧、農業被害と支援、国道105号線の復旧見通しについて。

答弁 ①災害対策本部を設置し、各部署長、警察、消防、国、県職員等のメンバーで対応した。

②早急に職員・消防団を派遣し被害状況やニーズを把握。孤立地区へも水・非常食等の支援物資を届けた。

③山鳩館の避難所に相談窓口を設置、LINEやメール、職員のチラシ配布等で周知した。

④8月26日より床上・床下浸水35軒中4軒残し、罹災証明書交付済みである。

⑤水道は今日現在68件が断水。仮設修理を行い9月上旬に仮復旧予定。

定。上桜木内・桜木内地区で水稻約33.5ha、そば約43.2ha、大豆約5.9ha、田沢地区でそばと養殖魚の一部流出被害を確認し復旧支援策を検討する。

鳥屋森橋周辺の国道105号は大型土のうと敷き鉄板で対応、県より規制解除は未定との事である。

骨髄移植・末梢血幹細胞移植ドナー登録の推進をしよう

質問 ドナー登録の普及・啓発とドナー休暇制度の推進、骨髄移植ドナーへの助成金交付の考えはないか。

答弁 骨髄移植ドナー登録は、市広報・HP等で普及・啓発に努める。助成金は、他自治体の取り組み状況や制度の効果、財政面を検証し、可能性についての調査・研究を進める。

【その他の質問】

◆未来へ夢と希望のまちづくりへ少子化対策と移住・定住事業について

◆自然ふれあい温泉館アルパこまくさのリニューアルで温泉の魅力復活を！



田口 寿宜 議員

インターナショナルスクール誘致事業について

質問 現在の進捗状況を伺う。

答弁 白岩仮校舎については、2026年8月開校を目指す、明確な方針が経営者から示された。

湖畔の本校舎については、候補地であるハートハープ周辺の埋蔵文化財調査の結果、開発が可能との見解が示されていることから、今後は売却か賃貸かについて本格的に交渉を進める。学校設置認可についても、今年度中の申請を目指し準備を進めている。

質問 開校後、もしもの事態が発生した場合、本校舎や土地の在り方についても取り決めておく必要があると考えるがいかがか。

答弁 もし学校運営が計画どおりに進まなかった場合や事業継続が困難になった場合に備え、契約内容に買い戻し特約を盛り込む事を検討している。さらに、売却や賃貸を行った場合に他の用途に転用されたり、第三者に転売されたりする事がないよう、顧問弁護士と

相談しながら覚書を取り交わす計画である。

田沢湖の湖面を安全に利用するために

質問 各種アクティビティで湖面を利用される方々が安心・安全に楽しんでいただけるよう、県とも協議を進めながら田沢湖湖面利用適正化条例（仮称）を制定する事も必要ではないか。

答弁 田沢湖湖面利用適正化推進協議会で作成したルールの周知を図り、その延長線上に条例の制定という事もあると思う。管理する県とも情報共有を図り、安心・安全に田沢湖でアクティビティを楽しんでいただけるような環境を実現するよう努力していく。



■みんなが安全・安心に楽しめる田沢湖へ



荒木田俊一 議員

仙北市誕生から二十年となるが、この先の仙北市の姿は

質問 新市合併時に描いた姿と現状には乖離があるが、この先の仙北市の姿は。

答弁 様々な過去の遺物の解体や負の遺産を整理していく。若い世代が暮らしやすく働きやすい雇用の環境を整え、しがらみなく活動できる仕組みを広げていく。農業や観光産業は高付加価値化を目指す。

質問 田沢湖病院を今後とも病院機能として維持していくのか。

答弁 慢性的な経営状況の赤字化は許されるものではない。市民に支持いただく医療の再構築が必要であり、安定的かつ持続的に医療を提供できる環境づくりのため経営健全化計画の策定に繋げる。

質問 イノシシによる被害が拡大しているが、農道や農業施設の復旧への支援はできないか。また、箱檻やワナの増強も必要ではないか。

答弁 捕獲の成果が出ていない現状であり、被害復旧支援の制度設

計を検討し来年度の予算化を目指す。檻やワナの増強についても予算化を目指し、狩猟強化も検討する。

質問 ふるさと納税返礼品の米は食品衛生法の検査が実施されているのか。検査をしていないのであれば推奨し、支援していく必要はないのか。

答弁 少量を検査した以外は実施されていない。消費者の安心と市の信用を守るためにも、検査を推奨するだけでなく、費用の一部を支援できる仕組みを検討していく。



■ふるさと納税の返礼品で人気の仙北米

その他の質問

◆ 桧木内、上桧木内の大雨災害における農地の復旧について



新成せんぼく
青柳宗五郎 議員

記録的な大雨により、住宅の浸水や農業被害、断水等、つのる不安解消の為の今後の対応について

質問 国・県・仙北市の対応は。

答弁 現状復帰だけでは、リスクを回避できないため、激甚災害指定等の要望とともに、再発防止の措置についても国に要望していく。浸水により住宅が床上・床下の被害に遭われたお宅に対し、市や県からの見舞金を支給し、応急修理する場合は、費用の一部を国の災害救助法に基づき助成していく。



■8月の上桧木内地区を襲った大雨の状況

田沢湖の護岸工事について

質問 未完成部分はどのくらいあるのか。

答弁 田沢湖の護岸工事は秋田県の事業として平成13年から平成26年度に実施し、湖岸の整備は、宅地・田畑・観光施設などの一般資産、湖岸道路等の公共施設を浸食から守ることを目的に、湖岸延長19.8kmのうち損傷の激しい護岸及び浸食の著しい区間の合計6.805mの整備を実施した。未完成部分は約13kmだが、その区間は、現況の地形及び護岸の機能が維持され、安全性が確保されていると考えている。

質問 未完成部分の13kmの整備について、これから先、国・県に対し要望していく考えを伺う。

答弁 (建設部長) 護岸整備の要望があれば、現地を確認し、仙北地域振興局建設部等の関係機関へ要望していきたい。



■浸食が著しい田沢湖畔



蒼生会
高橋 輝彦 議員

田口市政 一期目4年間の検証と今後の取り組みについて

質問 保育園の給食費・保育料及び、高校生までの医療費無償化を実施してきたが、出生数の増加には至っていない。小・中学生の給食費無償化はどうか。

答弁 本来、国がやるべき事と思っているが、市としても無償化に向けて前向きに検討したい。

質問 角館高校への「地域みらい留学」による県外からの入学受け入れ推進のため、クリオンの自炊棟を宿泊施設として提供してはどうか。

答弁 自炊棟を大雨で被災した方々への提供を検討したが、老朽化が激しく活用には大幅な改修が必要であり、課題が多いと考えている。

質問 インターナショナル



■角館高校の宿泊施設に提案されたクリオンの自炊棟

ルスクール白岩仮校舎は今年9月開校予定だったが、来年8月に延期されることで、改修工事や学校としての認可はどうなるのか。

答弁 白岩仮校舎の寄宿舎とする空き家の準備が遅れているため開校を延期する。本校舎予定地の田沢湖ハートハープは、売却を勧めており、今後、改修工事の調査が始まるが、工事は来年3月か4月の予定である。学校の認可はまだである。

質問 仙北市は2つの病院経営の岐路に立っている。市として国への支援や診療報酬の引き上げを要望しているか。また、人口2万2千人の市が2つの病院を経営していく覚悟を伺う。

答弁 国への支援は全国市長会と共に要望していく。市の財政は非常に厳しく、補助金を無限に出すことはできない。院長をはじめとし、職員も強い危機感を持つべきとの思いで、経営健全化計画策定に至った。これを基に私も関わり両病院の経営改善に取り組む。

その他の質問 ◆上野庁舎供用開始後の各部所の再配置について

特集 8/19～21 大雨災害状況（上桧木内地区）

8月19日から21日にかけて前線や暖かく湿った空気の影響により降り続いた大雨で、降り始めからの48時間降水量が桧木内地区で319ミリとなり、桧木内川が氾濫し大きな被害がありました。

被災された市民のみなさまに、心からお見舞いを申し上げます。



■8/20 桧木内川が氾濫



■桧木内川氾濫によりえぐり取られた路肩



■床上浸水住家の災害廃棄物



■全国各地から参集したボランティア



■市議会（蒼生会）のボランティア活動



■山鳩館での炊き出しボランティア